

**前橋市地域包括支援センター南部
～担当地区～
～居住支援の事例～**

前橋市地域包括支援センター南部
角田 崇

～担当地区～

1. 担当地区（上川淵・下川淵）の高齢化

- ・ 高齢者数・高齢化率

	人口	高齢者	高齢化率	内ひとり暮らし
上川淵	24,974 人	7,913 人	31.68 %	2,297 人
下川淵	9,370 人	2,757 人	29.42 %	502 人

- ・ 前橋市の高齢化率 29.53 % と同等

2. 担当地区の特徴

上川淵地区

地区内で農村型のコミュニティのあるところ、新住民中心のところ、公営団地群で構成されるところなどがあり、町ごとの特性が大きく異なる。



下川淵地区

全町でサロン活動を実施し、その他交流の場も多く、子供から高齢者まで多くの住民が地域活動に積極的に参加し、住民同士のつながりが強い地区。

**包括南部に寄せられる相談 月平均 約200件のうち
87%が、上川淵地区**

3. 上川淵地区の特徴的な住宅

朝倉町・広瀬町の団地群



立ち並ぶ中層集合住宅



エレベーターもなく老朽化



エレベーターはあるが
奇数階の踊り場で乗降



4. 団地は今

そもそも他市町村からの流入者が多く、地縁関係も少なく、近所付き合いも希薄

- ① 団塊の世代の高齢期への到達により居住者は一斉に高齢化
- ② 地域住民の高齢化、住宅の老朽化、子育て世代の流出
- ③ 公共交通機関の減少、社会資源の減少、コミュニティの活力の低下

持続不能な地域社会

居住支援の事例 ①

Aさん 70代 男性 長女宅に身を寄せる
脳梗塞後軽度のマヒあり
就労不能 年金収入5万円/月

- ・ ある日、長女と言い争い
長女より暴行を受け 警察に**保護** 警察から相談
- ・ 市と協議し**分離**が必要と判断

- 生活管理指導短期宿泊を利用し一時避難
期限は最長 **14日間**
- その間 アパート探し
市への根回し（生活保護相談、住民票異動、介
護保険申請等）
- **アパート探しが難航** ・ ・ ・ 契約には契約金の払
い込みが必要だが、保護費からの支払いは決定
後となる

- ・ 複数の不動産業者をあたり、「契約金は**後払い**でよい」という不動産業者を見つける

- ・ 現在は生活保護費を受給しながら、介護サービスを利用し、ひとり暮らしをしている



警察に保護されてから10日間のできごと

居住支援の事例 ②

Bさん 80代 女性 ひとり暮らし
認知症 生活保護受給者

- ・ 民生委員より相談あり
お金も下せず 買い物もできていない様子
- ・ 受診や介護は拒否
弟に状況説明し食糧支援を受ける

- 弟が買ってきた食料（惣菜、パン等）も原因不明の喪失 食事が摂れているか不明
- 弟に強引に精神科受診依頼
- 介護保険認定 市へ相談
有料老人ホーム探しを紹介業者に依頼



- ・生活保護受給者の受け入れホームが見つからず小規模多機能ホーム（介護保険）のショートステイを利用
- ・2ヶ月後、有料老人ホームに入居となる

入居に関わる手続等は弟が行う



居住支援の事例 ③

Cさん 70代 男性 ひとり暮らし
認知症 年金受給者

- ・ 自宅で倒れているところを娘が発見
救急搬送し入院
- ・ 治療終了し退院の準備 本人は施設入所を希望

- 娘と面談を繰り返すが、何かと言い訳をつけ
入院費の支払いはされない
施設入所の準備もしない
- その後、娘による本人の年金の引き出しが確認
される

- ・ 病院、市、包括で調査 経済的虐待と判断
- ・ 度々の改善要求に対し、その後も状況は改善されない
- ・ 年金振込口座の変更
介護保険施設へ入所



居住支援の事例 ④

Dさん 70代 男性 ひとり暮らし
アルコール性肝硬変
仕事を解雇され経済的困窮

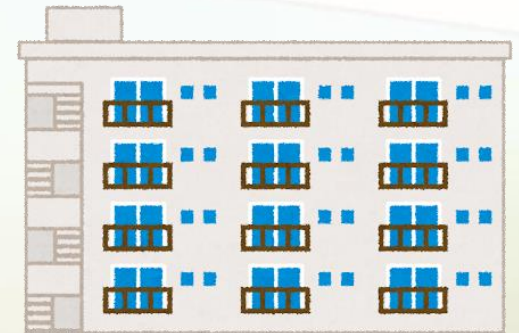
- ・ 栄養失調、肝機能の悪化で入院
- ・ 包括が関わるが**支援拒否**
- ・ 退院後、無銭飲食を繰り返し、警察に**拘留**



- 地域生活定着センターより包括へ介入依頼

- 検察庁で面談、帰宅希望あり自宅へ

- 再度、無銭飲食で逮捕



- まえばし生活自立相談センターと同行、面談
自宅での一人暮らしは困難と判断、本人も同意
自立準備ホーム（更生施設）を探すことに

- 地域生活定着センターが**自立準備ホーム**を探している間、**養護老人ホーム**で過ごすが体調悪化し**入院**
- ADL低下し自立準備ホームを断念、**有料老人ホーム**へ入所となる
- 入居手続きは、唯一の親族である**東京都在住の甥**
- **ケアマネ**の支援により生活保護申請



包括支援センター南部による居住支援

<支援の経緯>

- ・ 虐待対応による“分離”が最も多い
- ・ 生活相談（困窮）・・・今後の生活に不安
- ・ 生活保護の相談

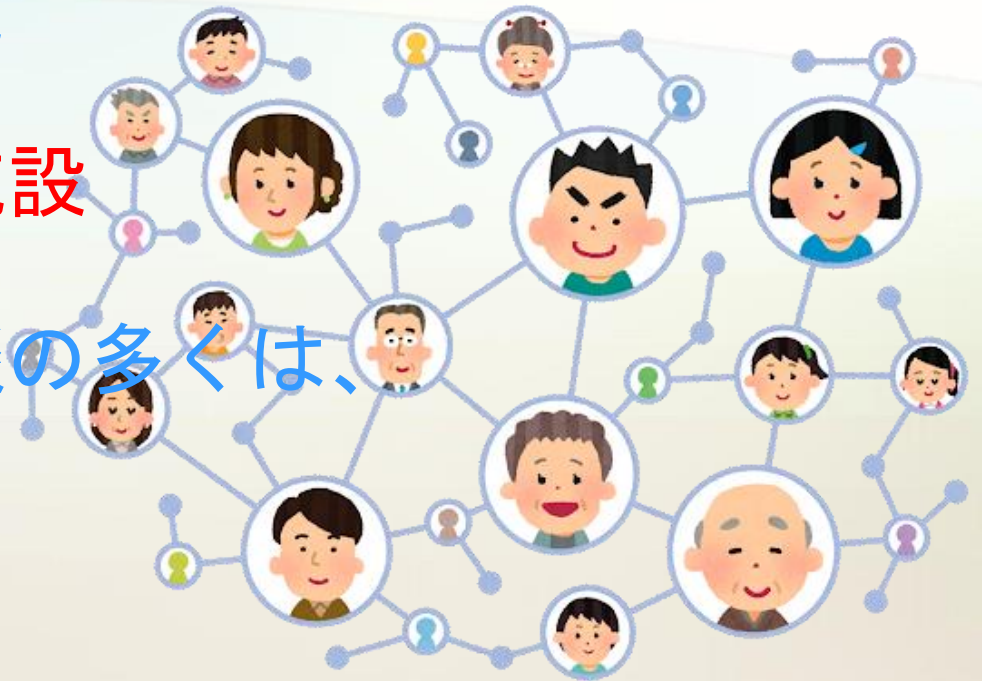
<居住施設>

- ・ 有料老人ホームが圧倒的に多い
- ・ 介護保険施設
- ・ 民間集合住宅



包括支援センターの居住支援 ～まとめ～

- ・ 65歳以上の高齢者に限定
- ・ 居住施設の多くが介護系施設
- ・ 支援のきっかけとなる相談の多くは、虐待と生活相談（困窮）



日頃の相談業務で構築されたネットワークが強み

ご清聴ありがとうございました

